



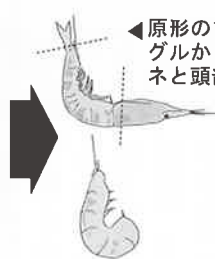
▲ マキエサがないとクロ釣りは成り立たない。だが、ただ撒けばいいというものでもない。適材適所、そのフィールドにベストマッチした集魚材を選ぶことも大事。グレパワーV9・V10は集魚力も確かだが、特にV10は潮筋を知るのに重宝する逸材、欠かすことができない。



▲ マキエサ作りも仕掛けと同じように、海底の状態や潮の流れを読み、海水で伸ばして調合する。



ツケエサにも一工夫が必要だ！



◀ 原形のままでと潮圧でグルグルかきまわされる。尾バネと頭部はカットする。

▲ 尾部をハリのチモトにねじ込むように挿し込み、ハリ先は出るか出ないか程度。

釣り込み時点の注意！

クロがマキエサに反応して乱舞するような場面で、浅ダナでは小～中型、深ダナでチラチラ大型が見え隠れしていてもいきなり底周りを狙うのはタブー。例えば大型がヒットしたにしても後が続かないケースもよくあることだ。まずはじっくり浅ダナでしっかり釣果を押さえることを心掛けよう。



その場面でクロの活性が高いときは、極端に浅いタナで喰ってくることもよくある。そんなときは固定仕掛けのほうが効率もいいし勝負も早い、また数も稼げるしね。

当然、そこで注意しないといけないことは、必要以上の深ダナを狙わないこと。できるだけ浅ダナから釣り込んでいくほうがいい。上っ面よりは底周りの方がクロの型はデカイかもしれないけど、いきなり底周りでデカイのを掛けてクロを警戒させると後が続かなかったってこと

はよくあることだからさ。

このことはこのポイントだけに言えることじゃなくて、どのポイントでも言えることだね。

仕掛けとしては、湧き潮の強弱にもよるが、浮力表示の倍以上のガン玉を噛み付けて、仕掛けの浮き上がりを抑えないといけないね。

一応、潮の湧き上がりの力量というか、強さみたいなもんはマキエサで判断できることもある。例えばマルキューのグレパワーV10なんか澄んだ海には良く映

えるから、その流れ方なんかきっちり目で追えるから大戦力になる。ウキもよく見とけば上下したり斜めになったりフラレたりして、仕掛け全体が馴染んでないかと判る。そんな時はガン玉を追加したりして再調整すればいい。

このポイントは湧き潮の表、潮の勢いの強い潜っていく方に仕掛けを送り込む。裏もいけど表の方が断然マキエも効いているし。この潮が湧いてくるっていうのは底に沈み根があるから潮が下から突き上げてくるんで、